



A H J I K A N R E P O R T

第52期 報告書

2015年4月1日 → 2016年3月31日



株主のみなさまへ

増収減益の決算をご報告申し上げます

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。当社グループの第52期(2015年4月1日から2016年3月31日まで)の連結会計年度が終了いたしましたので、ここに営業の状況および決算などについてご報告申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益および雇用・所得環境の改善傾向から緩やかな回復基調が続きましたが、中国経済をはじめとした世界景気の下振れや原油価格下落の影響などから、金融資本市場が不安定な動きとなるなど、先行き不透明な状況で推移いたしました。

食品業界におきましては、食品の安全・安心への関心が高まる中で、輸入品や原材料価格が高値で推移したことにより一部商品の値上がりにより個人消費に弱さが残るなど、厳しい経営環境が継続いたしました。

このような状況の中、当社グループは第10次中期経営計画の初年度をスタートさせ、各施策に取り組んでまいりました。具体的には、第一に「営業基盤の拡充と市場開拓」、第二に「商品の研究開発と技術開発およびマーケティング力の強化」、第三に「利益構造の改革」、第四に「全社供給体制の強化と効率化」、第五に「経営効率・経営品質の向上」を重点施策とした取り組みを展開してまいりました。

その結果、厚焼玉子を始めとする玉子焼類に加え、蒲鉾類、味付かんぴょう・しいたけ類など自社製品全般に安定した需要を維持することができました。また、平成22年12月に新規事業の一環として立ち上げた「ごぼう茶関連事業」につきましては、広告宣伝を強化した効果などもあり、定期購入顧客が大幅に増加し、当社事業の新たな柱に育ちつつあります。

以上のことから、売上高全体では、前連結会計年度に比べ6.9%増加の39,827百万円となりました。

一方、製造原価におきましては、鶏卵価格の高止まりに加え、第3四半期まで継続した円安や需給の関係から椎茸、干瓢、魚肉すり身価格が高値で推移するなど、当社主要原材料価格は、前連結会計年度以上に上昇いたしました。また、副材料・



株式会社 あじかん なかに のぼる
代表取締役社長 中谷 登

補助材料も依然として高値で推移しており、グループ全体の製造コストを押し上げる要因となりました。

販売費及び一般管理費につきましては、全社的に抑制する方針で進めてまいりましたが、売上高の拡大に伴う物流費や販売促進費などの変動費、「ごぼう茶関連事業」の広告宣伝強化など次期成長拡大に繋がる戦略的な経費に加え、マイナス金利や株価下落の影響などにより、退職給付費用が大幅に増加したこともあり、前連結会計年度に比べ7.9%増加し8,841百万円となりました。

これらコスト増加要因もありましたが、増収による販売利益の増加に加え、自社工場製造製品の大幅な売上高増加による高い生産稼働率を維持できたことや、省エネ、生産歩留まりの改善、原油価格下落に伴う工場ユーティリティ・コストの低減などの原価低減効果により、営業利益は、前連結会計年度に比べ191.9%増加の461百万円となりました。また、為替デリバティブが前期時価評価益から評価損に転じたことから、経常利益は、前連結会計年度に比べ17.6%減少の437百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度に比べ6.5%減少の234百万円となりました。

当社は引き続き、食品メーカーとしての社会的責任を全うし、目標の確実な実現に向けて全社をあげて取り組む所存でありますので、株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2016年6月

代表取締役社長 中谷 登

Q 主要原材料の市況変動リスクは？

A 当社グループが生産する製品は、鶏卵、干瓢、椎茸、ごぼう、魚肉すり身を主原料としており、契約購買や分散調達により安定した数量の確保と特定の調達先への集中の回避を図っております。

しかし、これらの原料は、作況、自然災害や大規模事故等の産地や生産者への影響、相場の変動、漁獲量制限、調達先の経済状況などによって、調達価格や調達量に影響を受ける可能性があります。

また、調味料、食用油といった副原料や包装資材などの原材料全般にわたって、需給動向や原油価格、穀物価格、為替などにより調達価格が変動し、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

Q 為替相場の変動による影響は？

A 当社の取扱品には海外からの輸入品が含まれており、為替相場の変動によるリスクをヘッジする目的で、為替予約による対策を講じております。しかしながら、リスクヘッジにより為替相場変動の影響を緩和することは可能であっても、影響をすべて排除することは不可能であり、当社の経営成績および財政状態に影響を与える可能性があります。

Q 食品の安全性に対する取り組みは？

A 近年、食品業界におきましては、野菜の残留農薬問題、BSE問題、鳥インフルエンザ問題、無認可添加物の使用問題、ノロウイルス、中国品の農薬混入事件、産地の偽装表示等の諸問題が発生しております。

当社グループでは、製造工程に導入しております「品質保証システム(ISO9001)」や「衛生管理システム(HACCP)」に加え、「食品安全マネジメントシステム(ISO22000)」を構築し対処してまいりました。また、起原原料まで溯って追査できるトレーサビリティの仕組みに加えて、フードディフェンス面を強化をする目的で、食品安全のための規格である「FSSC22000」の認証取得に向けた取り組みを実施しており、品質管理については万全な体制で臨んでおりますが、今後も当社グループ固有の品質問題のみならず、社会全般にわたる一般的な食品の安全性や品質に係る問題が発生した場合、当社グループの業績に影響を与える可能性があります。

Q 利益配分に関する考え方は？

A 当社では、株主のみならず適切な利益還元を行うことを経営の重要課題と位置付けており、安定的な利益を確保し、事業規模の拡大と収益性向上の原資となる内部留保の充実に努めるとともに、配当につきましては、安定的かつ継続的に行う前提で、配当性向や配当利回りなどを指標とし、経営成績を勘案した成果配分とすることを基本方針としております。

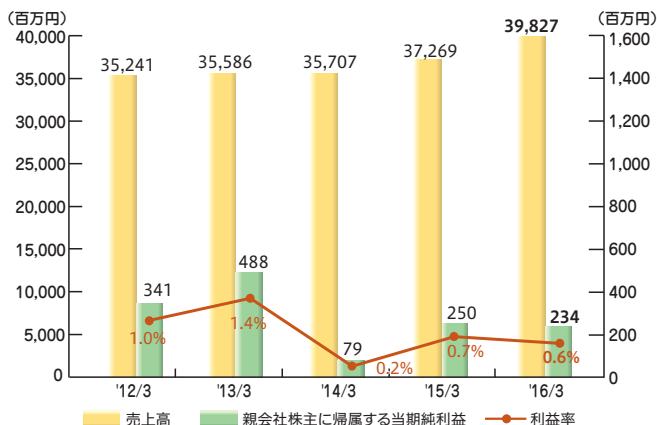
当期の期末配当金につきましては、経営成績に鑑み、1株当たり12円とさせていただきます。

内部留保資金につきましては、今後予想される経営環境の変化に対応すべく、今まで以上にコスト競争力を高め、市場ニーズに応える技術・製造開発体制を強化し、さらには事業拡大戦略のために有効投資を行ってまいりたいと考えております。

あじかん @ a glance

業績の推移(連結)

売上高・親会社株主に帰属する当期純利益/利益率



総資産・純資産/自己資本比率



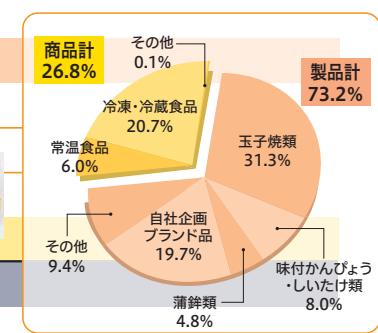
製商品別売上高

「あじかんグループ」は、鶏卵加工製品・野菜加工製品・水産練製品・その他食品の製造、販売、および卸売、農産物の生産、販売を主な事業としております。

(単位:百万円)

区分	'15/3	構成比	'16/3	構成比	前連結会計年度比
玉子焼類	11,458	30.7%	12,476	31.3%	108.9%
味付かんぴょう・しいたけ類	2,980	8.0%	3,171	8.0%	106.4%
蒲鉾類	1,818	4.9%	1,923	4.8%	105.8%
自社企画ブランド品	7,433	20.0%	7,841	19.7%	105.5%
その他	3,173	8.5%	3,746	9.4%	118.1%
製品計	26,863	72.1%	29,159	73.2%	108.5%
常温食品	2,267	6.1%	2,396	6.0%	105.7%
冷凍・冷蔵食品	8,117	21.8%	8,252	20.7%	101.7%
その他	20	0.0%	19	0.1%	96.9%
商品計	10,405	27.9%	10,668	26.8%	102.5%
合計	37,269	100.0%	39,827	100.0%	106.9%

注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



チルド物流を根幹においた あじかんネットワーク

国内に協力工場を含め5つある工場で、徹底した品質管理のもとに生産された製品は、全国へ張り巡らされたチルド主体の物流網を通じて、全国35営業所から直接、お客さまにお届けいたしております。



本社・広島工場
'78年稼働
主要生産品目／玉子焼・味付品
主な供給エリア／中国・四国地区

鳥栖工場

'82年稼働
主要生産品目／
玉子焼・かに風味蒲鉾・おぼろ
主な供給エリア／九州地区

宮崎営業所



徳島営業所



籠谷工場(協力工場)
'92年稼働
主要生産品目／玉子焼
主な供給エリア／
近畿・東海・中京地区

西多摩営業所



東京営業所



守谷工場

'91年稼働
主要生産品目／玉子焼・蒸煮玉子加工品
主な供給エリア／北海道・東北・関東地区

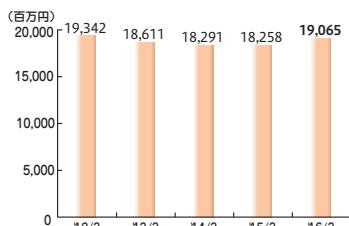
静岡工場

'98年稼働
主要生産品目／玉子焼・かに風味蒲鉾
主な供給エリア／関東・東海・中京地区



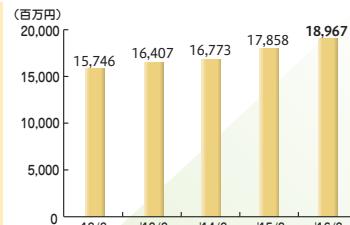
■ 西日本エリア売上高(連結)

競合との販売・価格競争もありましたが、中食市場への深耕開拓や沖縄地区での新規開拓を進めるとともに、各種イベントに合わせた販売活動などを積極的に行った結果、売上高は19,065百万円(前連結会計年度比4.4%増加)となりました。



■ 東日本エリア売上高(連結)

新製品やリニューアル品を軸にスーパーマーケットやコンビニエンスストアに向けての取り組みを強化するとともに、平成25年5月に開設いたしました札幌駐在所(現札幌出張所)などでの新規開拓に加え、甲信越や北陸地方など新規エリアでの販売体制を強化した結果、売上高は18,967百万円(前連結会計年度比6.2%増加)となりました。



あじかんの流通経路

当社は業務用食品のほか、一部市販用の食品を取り扱っております。当社では原材料を加工し、製品化して販売するとともに、商品を仕入れての販売も行っております。また、海外においても関係会社からの「海外生産品」や海外委託工場で生産する「海外調達品」も仕入れております。近年は、中国をはじめ、東南アジア諸国や、北米、豪州市場への販売強化にも取り組んでいます。



History あじかんのあゆみ

当社の歴史は、創業者である 足利政春が、
1962年に広島市で個人創業したことから始まります。
以来、地歩を固めながら確実に成長してまいりました。

売上高
(百万円)



愛康食品(青島)有限公司

つくば山崎農園産
あじかん焙煎ごぼう茶



宮崎営業所を移転開設 [11月] 2015

2016 35,000



東京営業所

ISO22000を取得 [1月]
中国に「味堪(広州)餐饮管理有限公司」を設立 [5月]
ごぼう茶の製造方法に関する特許を取得 [12月] 2014

香港に「味堪香港有限公司」を設立 [9月] 2013

(株)あじかんアグリファームを設立 [4月]
1単元の株式数の変更(500株→100株)、創業50周年 [10月] 2012

「つくば山崎農園産あじかん焙煎ごぼう茶」発売 [12月] 2010

「東京営業所」を建て替え [5月] 2008



静岡工場

中国に合弁会社「愛康食品(青島)有限公司」を設立 [5月] 2005

ISO14001認証取得 [12月] 2003

中国に「山東安吉丸食品有限公司」を設立 [2月] 2002

ISO9001認証取得 [2月] 2001

東証2部上場(広証廃止による移行上場) [3月]
1単位の株式数の変更(1,000株→500株) [8月] 2000



山東安吉丸食品有限公司



静岡工場開設 [4月] 1998

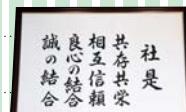
1996 [12月] 大証2部上場



広島製玉時代の
本社工場

1990 [12月] 広島証券取引所へ株式上場(6日)
[12月] 資本金を1,102百万円に増資

1984 [8月] 「厚焼玉子の製造方法」特許登録(初の登録特許)



1978 [3月] 商号を株式会社あじかんに変更
[6月] 本社・広島工場を、広島市西区商工センター(現地)へ新築移転

1970 [1月] 商号を株式会社広島製玉に変更

1965 [3月] 資本金1百万円にて株式会社三栄製玉設立

1962 [10月] 広島市南区西蟹屋にて、創業者 足利政春が三栄製玉として個人創業



創業当時の作業風景

0

'62'63'64'65'66'67'68'69'70'71'72'73'74'75'76'77'78'79'80'81'82'83'84'85'86'87'88'89'90'91'92'93'94'95'96'97'98'99'00'01'02'03'04'05'06'07'08'09'10'11'12'13'14'15'16

2015-2016 Topics

広報・IR

■ 『MAKIZUSHI倶楽部』Webサイトオープン

当社は、2015年4月、日本の伝統食である巻寿司の魅力を楽しく伝えるコミュニティサイト「MAKIZUSHI倶楽部」をオープンいたしました。

「MAKIZUSHI倶楽部」は巻寿司の歴史を学び、巻寿司の良さを実感し、巻寿司文化を盛り上げていくためのコミュニティサイトです。巻寿司の歴史や豆知識のほか、おいしい巻寿司の作り方や巻寿司に関する最新情報を提供します。

当社HPからも、「MAKIZUSHI倶楽部」のサイトにアクセスできますので、是非一度、ご覧ください。

【MAKIZUSHI倶楽部Webサイト】 <http://makizushi-club.com/>



■ ごぼう茶焙煎工場のごぼう茶が健康食品のGMPの適合認定を受けました

当社は、2016年6月12日付で、ごぼう茶焙煎工場のごぼう茶が健康食品のGMPの適合認定を受けました。GMPとは「Good Manufacturing Practice」の略称で「適正製造規範」と訳され、「設定された品質の製品を製造するために、原材料の受け入れから製品出荷までの全製造工程において、きめ細かく具体的に管理するもの」です。

昨今、食品業界で安全性確保が注目される中、GMPで厳正な規範に基づいて運用されることで、お客さまには、より安心してご購入いただけると思います。



移転開設

■ 「宮崎営業所」を移転しました

当社は2015年11月20日、宮崎市柳丸町にあった宮崎営業所を同市新別府町に移転いたしました。

冷凍・冷蔵庫の床面積は、従来の2.6倍となり、十分な倉庫スペースも確保していますので、製商品の品揃えを充実させ、これまで以上にお客さまのご要望にお応えできるようになりました。また、低騒音・省エネ型の冷凍機や、倉庫・事務所等の照明にはLEDを採用し、環境・省エネにも配慮しております。

今回の移転を機に、より多くの方にあじかんを知っていただくとともに、迅速かつ細やかな対応と配送効率の向上を図り、さらなる業績の拡大に努めてまいります。



【名 称】 宮崎営業所
【住 所】 〒880-0834 宮崎県宮崎市新別府町麓513番地3
(TEL)0985-21-1555 (FAX)0985-21-1577

決算のご報告 [連結]

COMMENT

◆連結子会社の数

4社

新規	0社
除外	0社

◆持分法適用関連会社の数

1社

新規	0社
除外	0社

企業集団の状況



貸借対照表(連結)

(単位:百万円)

科目	前連結	当連結
	会計年度 2015年3月31日現在	会計年度 2016年3月31日現在
流動資産	9,748	9,600
現金及び預金	1,326	1,456
受取手形及び売掛金	4,439	4,781
商品及び製品	2,291	2,174
仕掛品	6	10
原材料及び貯蔵品	1,024	973
前渡金	62	12
前払費用	84	74
繰延税金資産	137	138
その他	451	21
貸倒引当金	▲73	▲43
固定資産	8,910	8,957
有形固定資産	6,763	6,867
建物及び構築物	1,884	1,893
機械装置及び運搬具	1,219	1,255
工具、器具及び備品	208	263
土地	3,371	3,371
リース資産	71	75
建設仮勘定	9	7
無形固定資産	165	129
ソフトウェア	84	64
リース資産	45	31
その他	35	34
投資その他の資産	1,981	1,959
投資有価証券	955	918
長期前払費用	3	3
繰延税金資産	—	3
その他	1,189	1,061
貸倒引当金	▲166	▲27
資産合計	18,659	18,557

ポイント① 総資産

総資産は、前連結会計年度末に比べ102百万円減少の18,557百万円となりました。主な増減要因は、受取手形及び売掛金、現金及び預金、生産設備の増強投資、メンテナンス投資による残高の増加や、為替予約、商品及び製品、原材料及び貯蔵品、投資有価証券の時価評価による残高の減少です。

(単位:百万円)

科目	前連結	当連結
	会計年度 2015年3月31日現在	会計年度 2016年3月31日現在
流動負債	7,095	7,127
支払手形及び買掛金	2,525	2,685
短期借入金	2,744	2,654
リース債務	58	59
未払金	510	642
未払法人税等	252	108
未払費用	340	365
賞与引当金	232	269
役員賞与引当金	25	31
その他	407	310
固定負債	1,484	1,286
長期借入金	815	561
リース債務	94	78
役員退職慰労引当金	370	390
退職給付に係る負債	111	205
資産除去債務	48	49
繰延税金負債	43	—
その他	1	1
負債合計	8,580	8,413
株主資本	9,435	9,578
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	7,298	7,441
自己株式	▲64	▲64
その他の包括利益累計額	643	565
その他有価証券評価差額金	309	285
繰延ヘッジ損益	0	▲20
為替換算調整勘定	428	369
退職給付に係る調整累計額	▲94	▲68
純資産合計	10,079	10,143
負債及び純資産合計	18,659	18,557

ポイント② 純資産

純資産は、剰余金の配当、為替換算調整勘定、その他有価証券評価差額金の減少要因もありましたが、親会社株主に帰属する当期純利益の計上により、前連結会計年度末に比べ64百万円増加し、10,143百万円となりました。この結果、自己資本比率は54.7%となりました。

損益計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2014年4月1日～ 2015年3月31日	2015年4月1日～ 2016年3月31日
売上高	37,269	39,827
売上原価	28,916	30,524
売上総利益	8,352	9,302
販売費及び一般管理費	8,194	8,841
営業利益	158	461
営業外収益	455	405
営業外費用	82	429
経常利益	530	437
特別損失	8	5
税金等調整前当期純利益	522	432
法人税等	272	198
当期純利益	250	234
親会社株主に帰属する当期純利益	250	234

ポイント3 売上高

季節的なイベントに合わせた販売活動の強化や主要都市での展示会開催、新製品開発やリニューアル品を軸とした新規開拓・深耕拡大への取り組み、新規エリアでの顧客開拓などに加え、海外販売の拡充、焙煎ごぼう茶の売上拡大など新規事業への取り組みも進展した結果、スーパーマーケットやコンビニエンスストアを中心に、厚焼玉子を始め、製品全般で安定した需要が維持できたことにより、売上高全体では、前連結会計年度に比べ6.9%増加の39,827百万円となりました。

キャッシュ・フロー計算書(連結)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度	当連結会計年度
	2014年4月1日～ 2015年3月31日	2015年4月1日～ 2016年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,064	1,133
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 818	▲ 469
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 399	▲ 529
現金及び現金同等物の増減額	▲ 142	130
現金及び現金同等物の期首残高	1,458	1,316
現金及び現金同等物の期末残高	1,316	1,446

ポイント4 営業利益

鶏卵ほか、椎茸・干瓢・魚肉すり身など主要原材料価格が高値で推移する一方、円安による外貨建て仕入品コストも上昇するなど、業績を圧迫する要因はあったものの、増収による販売利益の増加に加え、自社工場製造製品の大幅な売上高増により、高い生産稼働率を維持できたことや、その他原価低減効果により利益を創出し、営業利益は、前連結会計年度に比べ191.9%増加の461百万円となりました。

ポイント5 親会社株主に帰属する当期純利益

為替デリバティブが前期時価評価益から評価損に転じたことから、親会社株主に帰属する当期純利益は、前連結会計年度に比べ6.5%減少の234百万円となりました。

株主資本等変動計算書(連結)

当連結会計年度(2015年4月1日～2016年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	1,102	1,098	7,298	▲ 64	9,435	309	0	428	▲ 94	643	10,079
当期変動額											
剰余金の配当			▲ 91		▲ 91						▲ 91
親会社株主に帰属する当期純利益			234		234						234
自己株式の取得					—						—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)						▲ 23	▲ 20	▲ 59	25	▲ 78	▲ 78
当期変動額合計	—	—	142	—	142	▲ 23	▲ 20	▲ 59	25	▲ 78	64
当期末残高	1,102	1,098	7,441	▲ 64	9,578	285	▲ 20	369	▲ 68	565	10,143

注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

決算のご報告【個別】

目標とする経営指標

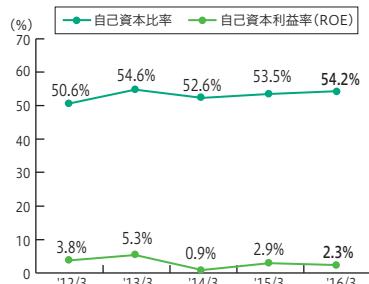
当社は、主な経営指標として売上高、経常利益率、自己資本比率、および自己資本当期利益率を用いております。これら各指標のさらなる向上を目指し、安定配当を継続して行うことができる企業体質の維持・向上に努めてまいります。

2021年3月期を着地点とします長期ビジョン“あじかんV20”においては、売上高の目標を年商500億円、経常利益率の目標を4%以上としております。

■売上高・経常利益率の推移(個別)



■自己資本比率・ROEの推移(個別)



■貸借対照表(個別)

(単位:百万円)

科目	前事業年度	当事業年度
	2015年3月31日現在	2016年3月31日現在
流動資産	9,110	8,927
現金及び預金	1,169	1,138
受取手形及び売掛金	4,533	4,715
たな卸資産	2,741	2,819
前払費用	78	72
繰延税金資産	142	142
その他	519	82
貸倒引当金	▲74	▲43
固定資産	8,933	9,019
有形固定資産	6,116	6,288
建物及び構築物	1,558	1,601
機械、装置及び運搬具	915	987
工具、器具及び備品	193	246
土地	3,371	3,371
リース資産(純額)	71	75
建設仮勘定	7	7
無形固定資産	129	95
ソフトウェア	84	64
リース資産	45	31
投資その他の資産	2,687	2,634
投資有価証券	955	918
関係会社株式	30	30
出資金	52	52
関係会社出資金	1,030	1,030
破産更生債権等	163	27
長期前払費用	0	1
保険積立金	251	264
出資預け金	62	62
敷金	199	193
前払年金費用	27	—
その他	79	81
貸倒引当金	▲166	▲27
資産合計	18,044	17,947

(単位:百万円)

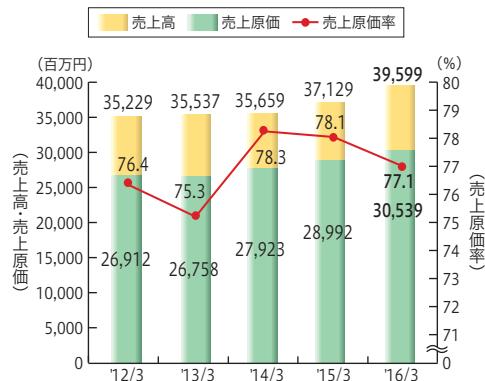
科目	前事業年度	当事業年度
	2015年3月31日現在	2016年3月31日現在
流動負債	6,980	6,997
支払手形及び買掛金	2,470	2,621
短期借入金	2,744	2,654
リース債務	58	59
未払金	508	637
未払費用	305	331
未払法人税等	246	98
未払消費税等	271	102
預り金	36	48
賞与引当金	232	269
役員賞与引当金	25	31
その他	80	142
固定負債	1,417	1,214
長期借入金	815	561
リース債務	94	78
繰延税金負債	87	26
退職給付引当金	—	106
役員退職慰労引当金	370	390
資産除去債務	48	49
その他	1	1
負債合計	8,397	8,211
株主資本	9,338	9,470
資本金	1,102	1,102
資本剰余金	1,098	1,098
利益剰余金	7,201	7,333
自己株式	▲64	▲64
評価・換算差額等	309	265
その他有価証券評価差額金	309	285
繰延ヘッジ損益	0	▲20
純資産合計	9,647	9,735
負債純資産合計	18,044	17,947

■ 損益計算書(個別)

(単位:百万円)

科 目	前事業年度	当事業年度
	2014年4月1日～ 2015年3月31日	2015年4月1日～ 2016年3月31日
売上高	37,129	39,599
売上原価	28,992	30,539
売上総利益	8,136	9,060
販売費及び一般管理費	8,015	8,646
営業利益	120	413
営業外収益	455	413
特別損失	6	4
法人税等	260	172
当期純利益	270	223

■ 売上原価の推移(個別)



■ 株主資本等変動計算書(個別)

当事業年度(2015年4月1日～2016年3月31日)

(単位:百万円)

	株主資本							評価・換算差額等				純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金		自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	評価・換算差額等合計		
		資本準備金	資本剰余金合計		別途積立金	繰越利益剰余金							利益剰余金合計
当期首残高	1,102	1,098	1,098	200	6,589	411	7,021	▲ 64	9,338	309	0	309	9,647
当期変動額													
別途積立金の積立					150	▲150	—		—				—
剰余金の配当						▲ 91	▲ 91		▲ 91				▲ 91
当期純利益						223	223		223				223
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)										▲ 23	▲ 20	▲ 44	▲ 44
当期変動額合計	—	—	—	—	150	▲ 17	132	—	132	▲ 23	▲ 20	▲ 44	88
当期末残高	1,102	1,098	1,098	200	6,739	393	7,333	▲ 64	9,470	285	▲ 20	265	9,735

注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

Outlook 次期の見通し

■ 市場環境の見通し

食品業界における次期の見通しにつきましては、消費者の低価格志向が依然として根強く、デフレ環境からの脱却にはある程度の時間を要するものと思われま。こうした状況の中、当社グループが主力としております中食市場は、比較的堅調に推移するものと見込んでおりますが、為替相場や原材料価格の動向に不安定要素があることや、同業他社との販売・価格競争がさらに激しさを増すなど、引き続き厳しい経営環境となることが予想されます。

■ 販売面の見通し

当社グループは、2021年3月期を着地点とする長期ビジョン“あじかんV20”を策定し、その実現に向けて、第9次中期経営計画を遂行してまいりました。その総括、ならびに、内外環境変化の見通しを踏まえ、第10次中期経営計画を策定し、当期よりスタートさせております。

基本戦略としては、国内市場における「継続的需要創造」、中国事業、および海外販売事業の拡大による「グローバル事業の展開」、独創的な商品開発、品質保証の高度化による「ブランド価値の向上」で、それに基づく重点施策“営業基盤の拡充と市場開拓、遂行のため、第10次中期経営計画期間内に、新工場の建設・稼働を予定しております。

次期、2017年3月期におきましては、国内市場への取り組み強化、中国国内販売およびごぼう事業の拡充、新技術を活用した玉子焼類や新規事業向け製品の開発・導入、製造原価・仕入原価の低減、営業粗利率の改善、経営ロスコストの削減、販売体制・物流体制の再編、食品安全マネジメントシステムの高度化に注力してまいります。

以上に基づき、次期の売上高は、40,500百万円(当連結会計年度比1.7%増加)を見込んでおります。

■ 利益面の見通し

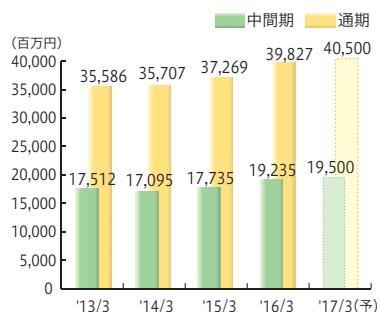
利益面では、営業利益は安定した売上高の拡大や利益構造の改善などを踏まえ950百万円(当連結会計年度比105.9%増加)、これに営業外損益を加えた経常利益は900百万円(当連結会計年度比105.7%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益は550百万円(当連結会計年度比135.0%増加)をそれぞれ見込んでおります。

また、期末配当金につきましては、為替相場や原材料価格の動向に不安定要素があることや同業他社との価格競争など、引き続き厳しい経営環境となる可能性があることから、普通配当で1株当たり12円とさせていただきたく予定です。

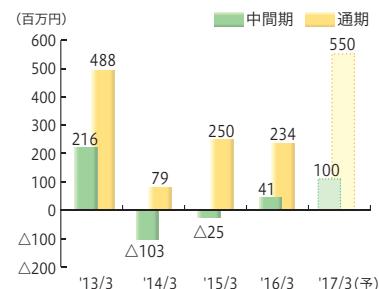


お客さまへ製商品をお届けする配送車

● 売上高(連結)



● 当期(四半期)純利益(連結)



株主優待品

毎年3月末現在の株主名簿に記載された100株以上保有いただいている株主のみなさまに、5月下旬に「自社取扱品の詰め合わせ」をご送付いたします。

ご所有株式数	ご優待内容
100株以上 500株未満	1,000円相当の自社取扱品
500株以上 1,000株未満	2,000円相当の自社取扱品
1,000株以上	3,000円相当の自社取扱品

2016年の株主優待品は、みなさまからいただいたご意見をもとに「自社製品の詰め合わせ」をお送りさせていただきました。

ご贈呈品目は、100株以上500株未満保有いただいている株主の方へ「3色セットごぼう豆(きなこごぼう豆、ミルクごぼう豆、チョコごぼう豆)」、500株以上保有いただいている株主の方へは「冷凍厚焼玉子(だし味)」、「手焼風刻みきんし」、「牛めしの具」、「合鴨スライス」、「たいやき」を、1,000株以上保有いただいている株主の方へは、500株以上保有いただいている方への贈呈品目に加え「ファインスティック」を送付させていただきました。



左記のほか、広報誌『膳』(年4回発行)や、毎年9月末現在の株主名簿に記載された100株以上保有株主のみなさまには、『あじかんオリジナルカレンダー』(年1回)をご送付させていただきます。



“あじかん焙煎ごぼう茶、関連製品発売のお知らせ

『ごぼうチップス(うま塩味、だししょうゆ味)』

- 発 売 日 …… 2015年5月25日
- 希望小売価格 …… 150円/袋(税抜)
- 発 売 地 域 …… 全国(通信販売)

商品特徴

ごぼうをそのままフライした素材感たっぷりのごぼうチップス。食物繊維豊富で、化学調味料不使用の健康的なスナック。食べきりサイズの内容量です。うま塩味とだししょうゆ味の2種類を取りそろえています。



『山崎農園産ごぼうの佃煮(鰹牛蒡、山椒牛蒡)』

- 発 売 日 …… 2015年11月16日
- 希望小売価格 …… 500円/箱(税抜)
- 発 売 地 域 …… 全国(通信販売)

商品特徴

つくば山崎農園産ごぼう、の風味・食感をそのままに、「つくば山崎農園産ごぼう」を使用した国産鰹節の風味豊かな、しっとりとした食感を有するごぼう佃煮。同時発売の「山椒牛蒡」は「鰹牛蒡」をベースに、実と粉の山椒を配合したピリッとスパイシーな味に仕上げています。

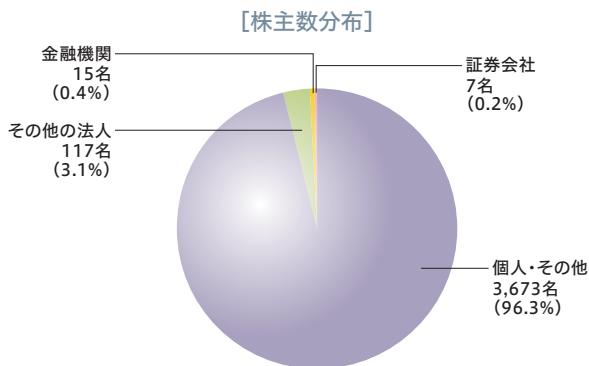


株式の概要

■株式の状況 (2016年3月31日現在)

発行可能株式総数	16,000,000株
発行済株式総数	7,700,000株
株主総数	3,812名
上場証券取引所	東証2部
証券コード	2907
単元株式数	100株

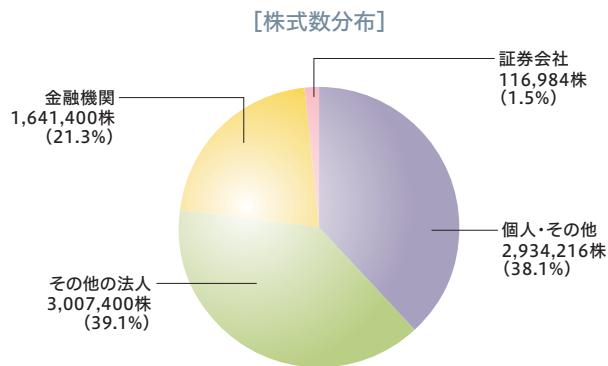
■株式分布状況 (2016年3月31日現在)



■大株主の状況 (2016年3月31日現在)

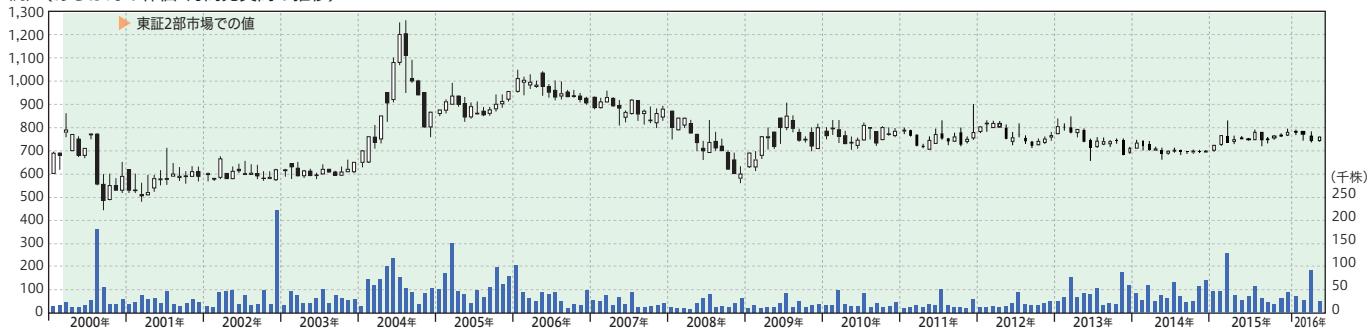
株主名	株式数(株)	持株比率(%)
株式会社 足利興産	1,934,700	25.4
あじかん三栄持株会	653,300	8.6
株式会社 広島銀行	363,000	4.8
あじかん株式持株会	349,400	4.6
株式会社 山口銀行	214,500	2.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	192,500	2.5
明治安田生命保険相互会社	158,000	2.1
西川ゴム工業株式会社	150,000	2.0
広島海苔株式会社	139,500	1.8
共栄火災海上保険	132,000	1.7

(注)持株比率は、自己株式を控除して算出しております。



■株価の推移

(円) (あじかんの株価・月間売買高の推移)



会社概要

商号 …… 株式会社あじかん
AHJIKAN CO.,LTD.

設立 …… 1965年(昭和40年)3月19日
(創業 昭和37年)

本社 …… 広島市西区商工センター
七丁目3番9号

資本金 …… 1,102百万円

従業員数 …… 733名(パートを除く)

主要な事業内容 …… 鶏卵加工製品・野菜加工
製品・水産練製品・その他
食品の製造、販売、および
卸売、農産物の生産、販売
を主な事業としており、
取扱品は次のとおりであり
ます。

【製 品】 玉子焼、味付かんぴょう、
味付しいたけ、かに風味蒲
鉾、中具、おぼろ、野菜煮物、
ごぼう茶 など

【商 品】 海苔、食用油、生姜、揚げ、
調味料、水産加工品、調理
冷凍食品などの業務用食品、
酒類

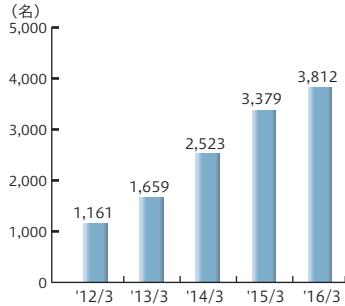
【農産物】 ごぼう など

■ 役員 (2016年6月29日現在)

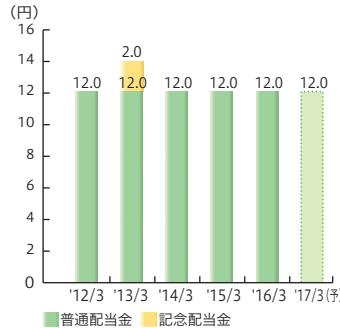
代表取締役社長 …… 中谷 登
取締役副社長 …… 足利 恵一
専務取締役 …… 白川 秀喜
常務取締役 …… 松岡 宣明
常務取締役 …… 豊田 太
取締役 …… 江角 知厚
取締役 …… 樋口 研治
取締役 …… 玉井 浩
取締役 …… 足利 直純
取締役 …… 川平 伴勅
常勤監査役 …… 大西 知之
監査役 …… 山本 英雄
監査役 …… 稲葉 琢也

注) 1. 取締役 川平伴勅氏は社外取締役です。
2. 監査役 山本英雄氏および稲葉琢也氏は、社外監査役です。

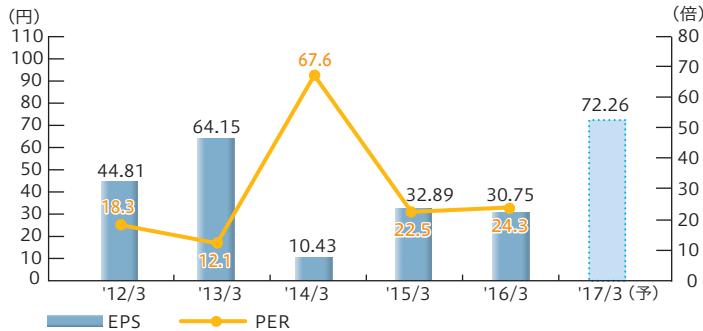
■ 株主数の推移



■ 配当金の推移



■ 1株利益(EPS)と株価収益率(PER)の推移



■ 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 3月31日 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日(当期中間配当は未実施)

株主名簿管理人
特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

同 連 絡 先
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行業
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
電話 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所

東証2部

公告の方法
(公告掲載URL)

電子公告

<http://www.ahjikan.co.jp>

※やむを得ない事由により、電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載する方法で行います。

【ご注意】

1. 株主さまの住所変更など各種手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社にお問い合わせください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でも、お取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で、お支払いいたします。

あじかんグループ企業の紹介

あじかんグループは、卵加工製品、野菜加工製品、水産練製品、その他食品の製造、販売、および卸売、農産物の生産、販売を主な事業としております。

▶ 株式会社あじかんアグリファーム(子会社)

所在地: 広島市西区商工センター七丁目3番9号
資本金: 30,000千円(当社100%出資)

主な事業内容 農産物の生産、販売、および加工業務など



▶ 山東安吉丸食品有限公司(子会社)

所在地: 中華人民共和国山東省青州市青壁路南段
資本金: 5,354千ドル(当社100%出資)

主な事業内容 農産物の生産および販売

▶ 味堪香港有限公司(子会社)

所在地: 香港灣仔港灣道中30号新鴻基中心
3階301室

資本金: 7,700千香港ドル(当社100%出資)

主な事業内容 酒類・食品の輸出入、卸売

▶ 愛康食品(青島)有限公司(持分法適用関連会社)

所在地: 中華人民共和国山東省萊西市深路東
資本金: 5,036千ドル(当社50%出資)

主な事業内容 寿司用食材や惣菜類などの製造・販売

IRへの取り組み



当社は、IR(投資家向け広報)の小冊子を発行しており、企業広報誌『膳』と併せてお配りしています。企業広報誌『膳』、IR小冊子、決算情報はホームページでご紹介しておりますので、是非、ご覧ください。

あじかん
ホームページ



>>> <http://www.ahjikan.co.jp/>



▶ 味堪(広州)餐飲管理有限公司(孫会社)

所在地: 中華人民共和国広東省広州市越秀区
建設六馬路青菜崗街

資本金: 4,500千人民元(味堪香港有限公司100%出資)

主な事業内容 酒類・食品の輸入、卸売



UD FONT

見やすいユニバーサルフォントを採用しています。